

高校生活初めての夏休みという貴重な時間を有意義なものにしたいと思い、私は企業大学訪問に応募しました。この企業大学訪問という、これから先、めったにないであろう行事に参加することで、自分を変えることができるだろうと考えたことも理由の1つです。企業大学訪問の説明を受けているうちに、行事への期待としっかりできるだろうかという不安が入り混じった気持ちになりました。なぜなら私は人とのコミュニケーションが少し苦手だったからです。

そんな気持ちを抱えたまま、8月3日、ついに当日を迎えました。1泊2日での訪問で、1日目はディレクトフォースをしたあと企業などを訪問、そして先輩方による懇談会という流れで進みました。まず、最初のディレクトフォースでは4人の方たちとディスカッションをさせていただきました。4人のそれぞれの方とのディスカッションでは様々な話し合いができました。たとえば、これから私たちが社会へ出るにあたりしておいたほうがよいこと、これからの世界のことなどの話し合いです。そのディスカッションの中で学んだことは、社会で生き残るためには個性を大切にすること、ある物事に対してなぜ？という疑問を持っていくことが大事だということでした。またこれからさらにグローバル化が進んでいくことから、外国へ行ってそこでしか得られない経験をしたりするのもよいという方もいらっしゃいました。このディスカッションで4人の方から学んだことやその前の講演のお話から、将来のためにやらなければならないことがたくさん見つかりました。一気に、やらなければならないことをするのではなく、1つ1つ丁寧に地道にこなしていきたいと思います。

ディスカッションが終わったあと、国立天文台三鷹キャンパスの訪問に向けて班で協力して目的地に向かいました。知らない土地を移動するというのも貴重な体験の1つとなりました。国立天文台には予定の時間に到着ことができ、スムーズに見学を始めることができました。国立天文台の見学は、もともと宇宙に興味を持っていた私にとって1番楽しみにしていたものでした。その見学では重力波というものを観測するためのものを最初に見せていただきました。それはレーザーの光の波がぶつかったときに生じる波の変化を見ることで重力波の原理を見るもので、よく考えられているなという感想を持ちました。驚くべきことに、そのレーザーが通るための管が300mにも及ぶ規模のものでした。300mと聞いたときとても規模が大きいことがよく分かりました。この重力波の研究が将来、私たちの生活に役立つときがくるのではないかと期待しています。その見学が終わったあとは、事前に国立天文台へお送りしていた質問に答えていただく時間となりました。その中で気になっていた「オーロラ」の色はなぜ1色ではなく複数の色があるのか、そしてそれはなぜなのかという質問に対しての答えは興味深いものでした。それは太陽から高速で飛んできた電子や陽子の粒子が地球の大気にぶつかることで「オーロラ」は発生し、その色は高度と大気成分によって変化するという答えでした。また太陽から飛んでくる粒子のエネルギーにも色は関係するとのことでした。エネルギーが小さい粒子は大気によりエネルギーが吸収されるため高度が高いところに「オーロラ」ができ、反対に大きなエネルギーを持った粒子は大気にのめり込むようになるため高度の低いところで「オーロラ」ができます。それに大気成分も関わってくるため、たくさん色があるのだらうと思いました。この質問コーナーでは他にも多くのことを知りました。今回私たちが知ったことについて新たな疑問を持ち、それを解決していきたいです。そうすることで知識をどんどん増やしていきたいと思います。国立天文台の見学が終わりホテルでの夕食を終えたあとすぐに先輩方との懇談会の時間がありました。多くの先輩と話し合うとうい貴重な時間はあっという間に過ぎてしまいましたがそれでも大き

な収穫があった話し合いとなりました。私は先日の中間考査の結果が全く振るわなかったためどうすればいいのだろうと悩んでいました。そんなとき、1人の先輩の高校時代のお話がとてもためになるものでした。その先輩も最初は自分の思い通りにはいかなかったと話していました。しかし自分なりに勉強を頑張っていたら、だんだん成績が上がってきたと聞きました。そんな話を聞いて私は自分にできることから地道に頑張っていくことに決めました。すぐには自分の思い通りにはいかないかもしれませんが、いつかそれが結果につながるということを信じています。そのような大きな収穫はありましたが、質問がほとんどできなかったという心残りがあります。次回、このような機会、似た機会があればたくさん質問していきます。そうして1日目が終わりました。1日目は自分のこと、社会や世界のことをよく考えさせてくれた日となりました。普段は全くそのようなことは考えていなかったため、本当に貴重な1日となりました。この日のことをこれからの生活に生かし、将来は人の役に立てる立派な社会人になれるといいと思っています。

2日目は東京大学の見学が主な目的でした。東京大学といえばやはり「赤門」ではないでしょうか。そこで東京大学に行ったということを記憶に留めておくため写真を撮りました。それから私は同じ分野に興味を持つ友達と一緒に理学部を見て回りました。そこでは前日の国立天文台の見学では聞くことのできなかった宇宙に関する展示がたくさんありました。惑星やブラックホールの観測などのお話を聞くことができ、宇宙についての知識をまた深めることができました。また正午から、事前に申し込んでおいた工学部の学部説明会に参加しました。これからの医療に役立つような機器の開発、研究をしていたりと、どのようなことをしているのかという説明もありました。私は宇宙の何らかの現象を観測し、それを研究することによって宇宙の多くの謎を解いていくことにしか興味がありませんでしたが、工学部よ説明を受けて誰かの役に立つ機器の開発、研究をして社会に貢献するという道はなしではないなと興味を持ちました。これからの自分の進む道の選択肢が増えるということはよいことだと思います。それが悩みの1つになるかもしれませんがゆっくりじっくり自らの進むべき道を決めていきたいと思っています。また宇宙の展示以外でとてもおもしろいと思ったものがありました。それは「クマムシ」という生物についての展示でした。人間が耐えられないような過酷な環境でも生きることができる生物です。クマの冬眠のように「クマムシ」は過酷な環境になると活動を休止(休眠状態)になります。まるで冷凍保存さらたような状態になるようです。環境がよくなると、再び活動を開始するというのでした。地球にはそのような驚異的な生命力を持つ生物も存在するという事実を知りました。そのような不思議な生物の研究をすることもいいかなと思いました。2日目の東京大学の見学での収穫は、これからの自分の進む道の選択肢が増えたことです。たくさんものに興味を持つことは社会に出る上でよい経験であり、物事に興味を持つことで生じる悩みを解決することも貴重な経験になると思います。そのような意味では多くのものに興味を持てたことはとてもよいと感じています。

今回の企業大学訪問でたくさんのよいことを得られました。今年の夏休みを有意義にでき、私はとても満足しています。しかし、これからは気持ちを切り替えて自分にできることを実践していきます。今回の企業大学訪問という貴重な2日間がこれからの私のためになることを信じて…。